



市の 議会だより

2022年

NO. 67

令和4年2月1日発行

青森県七戸町議会

広報編集特別委員会



2022年最初の3連休 雪に恵まれ七戸町営スキー場賑わう

1月10日、成人の日、七戸町営スキー場は天候にも恵まれ、午前中からスキーやスノーボード、そり滑りを楽しむ人で賑わっていました。今シーズンは年末年始の豪雪の影響により豊富な雪に恵まれ、「密」を気にせず楽しめるということもあり、訪れた人は青空のもと思い思いにシュプールを描いていました。

12 月 定 例 会

定例会・臨時会の主な審議内容……………	2～4
「特集」一般質問、その後……………	5
一般質問に5人登壇……………	6～12
委員会の動き……………	13～14

12月 定例会

主な審議内容

議 案

令和3年第4回定例会は11月30日に開会し、田嶋輝雄議会運営副委員長の報告のとおり、会期を3日までの4日間と決定しました。
30日は、町長の提案理由説明と議案1件を先議、1日は一般質問(5人)、最終日の3日は議案審議を行いました。
提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決し閉会しました。

〇七戸町過疎地域持続的発展特別事業基金条例の制定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に規定する、過疎地域持続的発展特別事業の財源となる基金に関し、必要事項を定める必要があるため、条例を制定するものです。

☆全会一致で可決

〇七戸町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

過疎地域の持続的発

展の支援に関する特別措置法に基づき定めた、七戸町過疎地域持続的発展計画に記載された区域内において一定の事業用資産を取得した者に対し、固定資産税を免除するため、条例を制定するものです。

☆全会一致で可決

〇国民健康保険条例の改正

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法の健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令及び全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法

等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の公布に伴い、同法等の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

〇放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

児童福祉法の一部改正を含む「第9次地方分権一括法」の成立により、放課後児童健全育成事業の一部が、従うべき基準から参酌すべき基準に見直されたことに伴い、同法等の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

〇子ども医療費給付条例

の改正

給付条件である所得要件の撤廃及び支給対象を出生から中学生までに変更することに伴い、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

〇水道事業給水条例の改正

水道事業の健全な経営の確保及び水道使用者の負担の適正化を図るため、水道料金の額を改正することに伴い、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

〇押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

行政手続等における押印の見直しに伴い、所要の改正をするもの

です。

☆全会一致で可決

〇内部組織の再編に伴う関係条例の整備に関する条例

人口減少・少子高齢化などの社会情勢の変化に対応した持続可能なまちづくり及びきめ細やかな福祉サービスの提供を行うことができるよう、効率的な組織・執行体制を確立するため、内部組織の再編に伴う関係条例を整理する必要があるため、所要の改正をするものです。

☆全会一致で可決

〇工事請負変更契約の締結 (荒熊内地区調整池整備工事)

工事内容に変更を生じたので、契約金額の変更について、地方自治法及び町条例の規定により締結するものです。

☆全会一致で可決

〇公の施設における指定管理の指定について

七戸町公園施設の管理を南部縦貫株式会社に行わせるものです。(令和4年4月1日から令和9年3月31日まで)

☆全会一致で可決

〇公の施設における指定管理の指定について

七戸町文化村物産館等の管理を株式会社七戸物産協会に行わせるものです。(令和4年4月1日から令和7年3月31日まで)

賛成14人 反対1人 ☆可決



町 清悦 議員

道の駅しちのへは、近隣の道の駅と比べても、非常にいいと思っっています。ただ、運営に関して「産直友の会」について、情報の共有を常々望んできたのですが、それがなされていません。そのような状況下で、3年前のような体制に戻ることは

対です。

賛成
討論



三上 正二 議員

3年前に比べれば、役員人事の改選もあり、良くなってきたっており、評価できます。ただし、「産直友の会」の意見が反映されるより取り組んでいただきたいということをお願いし、賛成します。

賛成
討論



附田 俊仁 議員

この3年間で物産協会は、経営的にとてもいい状態とは言えません。これは一度、元の状態に戻す、公設民営の状態にすることで賛成します。

○令和3年度補正予算

(次項表参照)

☆全会一致で可決

追加議案

○職員給与に関する条例の改正

例の改正

青森県人事委員会の勧告に準じ、職員の期末手当の支給割合を改めるため、条例を改正するものです。

賛成13人 反対2人

☆可 決

反対
討論



佐々木 寿夫 議員

日本における労働者の賃金は、ここ20年、ほとんど上がっていないなか、今年の冬は、ガソリンや灯油の値段が上がり町民の生活は非常に厳しい。そのようななか、給与を下げるということには賛成できません。

○特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の改正

町長等の期末手当の支給割合を改めるため、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

町議会議員の期末手

当の支給割合を改めるため、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結

(仮称) 七戸町総合アリーナ新築工事 建築工事)

(仮称) 七戸町総合アリーナ建築工事の契約のため、議会の議決を求めるものです。

賛成14人 反対1人

☆可 決

反対
討論



中野 正章 議員

当町の現状は、歯止めがかからない少子化、人口減少。コロナ禍によりさらに悪化すると言われています。このようななか、アリーナ建築工事の規模は、人口1万5000人の当町に合っているのか。身の丈に合っていないのは明らかです。サブアリーナをなくすべきではないか。このようなことから反対します。

○工事請負契約の締結

(仮称) 七戸町総合ア

アリーナ新築工事 電気設備工事)

(仮称) 七戸町総合アリーナ電気設備工事の契約のため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結

(仮称) 七戸町総合アリーナ新築工事 機械設備工事)

(仮称) 七戸町総合アリーナ機械設備工事の契約のため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○物品購入契約の締結

(除雪グレーダ交換購入)

除雪グレーダ(40m級)交換購入契約のため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○七戸町土地改良事業(災害復旧事業)の施行

「令和3年8月9日から11日発生豪雨災害」により被災した農地及び農業用施設の災害復旧工事を土地改良法の規定により施行するものです。

☆全会一致で可決

○令和3年度一般会計補正予算(第12号)

8410万8000円を追加し、総額を108億659万5000円とするものです。

☆全会一致で可決

報告

○七戸町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和2年度庶務事業分)に関する報告

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、報告するものです。

☆報告

動議

○議員定数削減について3月定例会までの期限として議会改革特別委員会付託の上、審査

13番田島政義議員から「議員定数削減について3月議会までの期限として議会改革特別委員会付託の上、審査されたい」との動議が提出。

☆原案可決

動議全文

当町の議員定数は、合併当初、在任特例で36名、平成19年に18名、平成23年に16名と、段階的に削減し現在に至っております。合併後15年以上が経過し、町の人口減少に歯止めがかからず、この人口減少は、地方交付税の配分に大きな影響があります。町でも定員適正化計画に基づき、職員数を削減し、町政運営にあたっては、同様な考えから、議員もみずから定数を削減しながらも、議会の活



性をめざすべきところであります。よって、当議会には、議会改革特別委員会がありますので、3月の定例会までに議員定数について議論することの提案を動議として提出します。

臨時会

令和3年10月28日

第3回

議案

○令和3年度一般会計補正予算(第10号)

9909万9000円を追加し、総額を104億7965万4000円とするものです。
☆全会一致で可決

○物品購入契約の締結

(除雪ドレーザ交換購入)
除雪ドレーザ(11t級)交換購入契約のため、議会の議決を求めめるものです。
☆全会一致で可決

報告

○専決処分事項の報告

《令和3年度予算関係》

一般会計補正予算(第8号)

☆全会一致で承認

一般会計補正予算(第9号)

☆全会一致で承認

水道事業会計補正予算(第3号)

☆全会一致で承認

○専決処分事項の報告

・自動車損傷事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて(報告38号)

☆全会一致で承認



令和3年度12月補正予算

区分	補正額	予算総額	一般会計補正予算
一般会計	2億4,283万3千円	107億2,248万7千円	歳入の主なもの 固定資産税(現年課税分) 1億1,800万0千円
特別会計			国庫支出金(新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金) 1,759万7千円
国民健康保険	1,718万7千円	18億2,690万9千円	県支出金(農林水産業施設災害復旧事業費補助金) 4,923万2千円
後期高齢者医療	1,767万2千円	4億3,951万9千円	歳出の主なもの ふるさと納税返礼品 1,080万0千円
介護保険	4,227万5千円	27億6,043万3千円	新型コロナウイルスワクチン 接種業務委託料 1,956万9千円
介護サービス事業	0千円	536万5千円	災害復旧工事費(補助分) 3,400万0千円
公共下水道事業	991万7千円	4億1,086万0千円	
水道事業会計	収益的収入 7万0千円 収益的支出 395万4千円	3億3,543万0千円 3億0,679万7千円	

～ 視察・見学レポート ～

「七戸浄水場」の現地視察

10月26日に七戸浄水場の現地視察が行われました。当日は、上下水道課長から施設の現状、給水能力、今後の改修計画等の説明がありました。また、8月の豪雨による災害のときの状況などの説明がありました。意見交換では、荒熊内地区にこれから商業施設や住宅等が増えた場合、給水能力は十分なのか等、たくさんの意見交換がありました。



沈殿池

「七戸公営 柏葉塾」の見学会

10月28日に柏葉塾の見学会が行われました。当日は、塾長や講師の方から施設の説明や塾の授業内容等の説明がありました。特に「自学自習力を高めること」を目標に、個別指導と映像指導を併用しているとのことでした。議員からは、「施設が明るく、オープンな作りで、集中できる環境」という感想がありました。



個別学習室

定例会・臨時会での主な感染症対策

・会議室入出時の手指消毒、マスク着用
・ドアや窓を開放しての会議室の換気
・傍聴者に感染症対策への協力を要請
・風邪症状がある場合の会議出席自粛
但し、議長が許可する場合は、この限りではありません。
例えば、飛行機や重機の騒音による窓の開閉、一般質問による壇上や質問者席でのマスクの脱着等。

ことばのヒント! 動議って??

学生: 「動議」って何ですか?
先生: 動議とは、諸説紛々であり、その取扱いが非常に面倒です。簡単に説明すると、本会議または委員会において意思決定を求めるための提議で、案を備えないとするのが通説であり、これといった定義はないので、法令に違反しない限り、所定の賛成者があれば提出することができます。
学生: 今回、13番田島議員が提出した動議は?
先生: 賛成者が2名あり、動議が提出されたあと、すぐに議会運営委員会が行われ、法令等に違反していないか、賛成者の確認などをし、本会議で議長が議題とすることをの宣告をし、議題となりました。
学生: わかったような、わからないような…。でも、議員から議会に対してなされる単純な提議であって、それが議会の議決を経るべきものなのだと、わかりました。

特集

町政に生かされているか！ 一般質問、その後…

追跡



議員主導による

政策論議の効果は！



一般質問は、議員主導による政策論議です。今回は、令和3年第1回定例会と第2回定例会での一般質問において、「検討する」と答弁した事項についての進捗状況をお知らせします。

しなど、消防団員の確保に向けて処遇の改善を検討している。

するようになっている。

導入を目指す。

質問者 町 清悦 議員

進捗状況（建設課）

令和3年第1回定例会
質問者 田嶋輝雄 議員
地域防災力の向上対策について

答 弁

住民の生活を守るために、消防団の役割というのは、今後どうあるべきか、十分検討しながら対処したい。

進捗状況（総務課）

消防団の役割について、災害が多発化・激甚化するなか、消防団員の負担が増加していることを踏まえ、年報酬や費用弁償の見直

質問者 中野正章 議員
七戸・天間林両地区の地域体制の違いを解消するために、町内全地区に分館体制を設ける考えは。

答 弁

勉強会や研究会、そういったものを立ち上げて、町内の分館体制を何とか作っていけないものかという事で、今後、取り組みの検討を進めたい。

進捗状況（中央公民館）

15分館の分館長・分館主事に対し、今後の分館のあり方等についてアンケート調査を実施し、その結果をもとに関係課と協議

質問者 町 清悦 議員
町内各地の道路や歩道の積雪情報や除雪状況を防災無線で伝えては。また、除雪に限らずメールは利用方法により多様な効果が期待できる。メールの一斉送信を導入する考えは。

答 弁

防災無線は、迅速に情報を伝えることができるため、今のところ一番いいものだと思っている。今後、新たなやり方を検討して構築していきたいと考えている。

メールについては、時代が変わりメールに対する理解度が上がっている。今後、十分検討して早めの

質問者 町 清悦 議員
町内各地の道路や歩道の積雪情報や除雪状況を防災無線で伝えては。また、除雪に限らずメールは利用方法により多様な効果が期待できる。メールの一斉送信を導入する考えは。

答 弁

防災無線は、迅速に情報を伝えることができるため、今のところ一番いいものだと思っている。今後、新たなやり方を検討して構築していきたいと考えている。

進捗状況（建設課）

令和3年第2回定例会
質問者 附田俊仁 議員
部活動及びスポーツ少年団のクラブチーム化の考

答 弁

令和2年度に「小中学校における運動部活動の方針」を策定し、検討することとしている。学校教育と社会教育の融合策を検討しながら、児童、生徒のニーズに対応できるように関係機関と協議していく。

進捗状況（生涯学習課）

町内のスポーツ活動における現況は、小学生においては、スポーツ少年団の活動が定着しており、中学生においては、学校部活動が主体となっている。中学生においては、小学生と同様にスポーツ少年団として組織化することで、専門の指導者による高度な指導を受けることができるというメリットがある一方、部活動がなくなり中学校体育連盟が主催する大会への参加資格がなくなるというデメリットも生じる。このことから、中学生のスポーツ活動につきましては、当面の間、現状のとおり学校部活動を中心に取り組んでいく。

住みよいまちづくりのために

町政のここが聞きたい



一般質問

12月定例会では、5人の議員から27件の一般質問がおこなわれ、移住・定住対策や自殺防止対策についてなど、活発な議論が展開されました。

「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であり、年4回の定例会で行われます。

質問する議員も受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要であるため、通告制※が採用されています。

議員が行財政全般にわたり、事務の執行状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策の確認、変更、是正、あるいは新規の政策を採用させる目的と効果があります。

※通告制とは、発言等をする場合、あらかじめ議長に対し発言要旨などを記載した文書を提出することです。

ページ	質問者	主な質問項目
8	佐々木 寿夫 議員	<p>◎町の移住・定住対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町への転入・転出について、10年間の推移は。 ・町は、移住・定住対策として何に取り組んでいるか。また、それぞれの実績は。 ・七戸町移住支援金の支給要件を拡げる考えは。 ・町独自で子育て世帯の移住者に、支援金を支給する考えは。 ・シェアオフィスを作る考えは。また、サテライトオフィスを誘致する考えは。 <p>◎福祉灯油について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉灯油の過去の町の取り組みは。 ・福祉灯油へ取り組む考えは。 <p>◎子ども医療費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの医療費の無償化について、近隣の町村の状況は。 ・町も高校生まで医療費を無償にする考えは。

ページ	質問者	主な質問項目
9	二ツ森 英 樹 議員	<p>◎農家支援対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、米価下落緊急対策支援交付金が給付されることになったが、これから先も農作物が価格急落になった場合、支援する考えなのか。 ・原油高騰による肥料の値上がり対策として、値上がり分について町で補助する考えは。 <p>◎除雪隊のコロナ感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪隊の待機場所の感染対策は。 ・仮に、除雪隊の中でクラスターが発生した場合の対策は。 <p>◎世界遺産二ツ森貝塚のこれからについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから冬になると来訪者は減少すると思うが、世界遺産二ツ森貝塚をもっと宣伝するため、冬にしかできないイベントを行う考えは。 ・グラウンドに縄文広場を作る計画は。
10	向中野 幸 八 議員	<p>◎町の自殺者数の状況と防止対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の今年1月から7月までの自殺者は180名で過去最高である。町の現状は。 ・守秘義務及び個人情報保護法等により情報入手が厳しいなか、自殺者・未遂者の把握や相談機関へ繋げるための取り組みは。 <p>◎公立七戸病院への負担金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立七戸病院の翌年度繰越欠損金は、増加の一途をたどっているが、来年度以降の資金不足比率改善のための基準外繰出金の有無及び負担金額の見込みは。 <p>◎町における空き家対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年の予算審査特別委員会において、町内の空き家は229件であるとの報告があった。現在の空き家数は。 ・町のホームページで閲覧できる空き家等情報バンクには数件しか確認できず、実際の空き家数とは大幅に異なる。登録が進まない要因は。 ・県内の多くの自治体は、不動産業者と繋がり深い「青森県宅地建物取引業協会」と協定を結んでいる。町では全国版空き家バンクに登録をしているが、県内他市町村からの移住者への情報提供を考慮すれば、同協会と協定を結ぶべきでは。 <p>◎学校給食への七戸町産食材の提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部上北学校給食センターへの、七戸町産の食材の納入量は。 ・給食への食材納入は、価格や規格に制限があり難しい部分もあるが、町として学校給食に、七戸町産の食材を積極的に取り入れてもらうための取り組みは。
11	田 島 政 義 議員	<p>◎インフルエンザ予防接種について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの当町における確保量と配分方法は。 ・広報11月号に予防接種実施のお知らせが掲載された。発行時点ですでに、七戸病院の高齢者の方々の予約が終了していたのはなぜか。
12	山 本 泰 二 議員	<p>◎行政広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の案内を町民に伝える手段には、どのようなものがあるか。 ・インターネットの広報番組で、行政について案内する考えは。

※一般質問は、制限時間50分、通告内容を1件ずつ発言して順番に質疑応答をしていく「一問一答方式」です。

七戸町移住支援金の支給要件を 拡げる考えは

佐々木寿夫 議員

国や県の仕組みを参考としながら、町独自で移住者の増加、定住の促進につなげられる新たな制度を検討していく

町長



一問一答方式

移住・定住対策について

議員 町への転入・転出者について、ここ10年間の推移は。

町長 平成22年の国勢調査の総人口は、1万6759人、住民基本台帳人口動態による転入者数430人、転出者数537人で107人の転出超過。平成27年の総人口は、1万5709人、転入者数426人、転出者数482人で56人の転出超過。令和2年の総人口は、令和3年11月30日発表で、1万4556人、転入者数340人、転出者数383人で43人の転出超過となっております。

議員 町は、移住・定住対策と

して、何に取り組んでいるか。その実績は。

町長 子育て世帯や新婚世帯が民間賃貸住宅に入居した際の家賃補助「ヤングファミリー定住支援事業」は、18世帯、244万1000円を補助。転入した方へ新築住宅の建設費を補助する「定住促進新築住宅建設支援事業」は、12世帯に633万円を補助。空き家や空き地の活用を図り、移住・定住を促進する「空き家・空き地活用事業」は、1世帯に30万円を補助。お試しで短期間の移住体験できる「しちのへ暮らし」わんつか体験住宅」は、8件の利用があり、そのうち1件2名が一時的であります。移住につながった実績があります。

議員 七戸町移住支援金の支給要件を拡げる考えは。

町長 現在、町が実施している移住支援金の支給要件は、東京23区に在住または通勤している方が町へ移住

して就業や起業等をした際に該当となるものですが、これまで支給実績はありません。今後、国や県の仕組みを参考としながら、町独自で移住者の増加、また定住の促進につなげられる新たな制度を検討していかなければならないと考えております。

議員 町独自で子育て世帯の移住者に支援金を支給する考えは。

町長 「定住促進新築住宅建設支援事業」の令和2年度実績12世帯のうち、7世帯が40歳未満の夫婦のため、若者特典として補助上限の50万円に加えて、さらに10万円を加算して補助しております。「ヤングファミリー定住支援事業」についても、18世帯のうち、子育て世帯区分として15世帯が支給対象となっております。今後も現行の補助事業の効果検証しながら、より移住・定住対策に有効な制度の構築に取り組みでまいります。

議員

議員 シェアオフィスを作る考えは。また、サテライトオフィスを誘致する考えは。

町長 シェアオフィスについては、地域おこし協力隊員が、空き家を利用して設置をしたいということで、物件の調査やニーズの把握など、活動中であります。サテライトオフィスについては、今年6月に「七戸町空き公共施設等利活用促進条例」を制定し、この制度を適用し、募集してまいります。

福祉灯油について

議員 福祉灯油の過去の取り組みは。

町長 平成19年度に県の補助金を活用して、高齢者障がい者、ひとり親世帯の約920世帯、462万円を助成。翌平成20年度は、国の交付金を活用して、770世帯、550万円を灯油代として一部助成をし

ております。

議員 福祉灯油に取り組む考えは。

町長 平成19年、20年当時において、灯油の価格は1リットル当たり130円を越えていたことから、緊急対策として灯油助成事業を実施いたしました。そのようなことから、今時点での緊急支援というのは考えておりません。

子ども医療費について

議員 子どもの医療費の無償化について、近隣町村の状況は。

町長 高校生までの医療費の無償化を実施しているのは、上十三地域、9市町村のうち東北町と横浜町であります。

議員 高校生まで医療費を無償にする考えは。

町長 今の時点での実施というのはいずれもありません。

二ツ森貝塚館がある、旧天間東小学校 グラウンドを縄文広場にする計画は

二ツ森英樹 議員



一問一答方式

町長

史跡公園との兼ね合いを考慮し、竪穴建物や掘立柱建物などの設置、体験活動ができることを軸として検討

農家支援対策について

議員

今年度は米価下落により、米農家の方は大変苦しい年になりました。この厳しい状況に、町では米価下落緊急対策として支援金を給付、これにより米農家の方も来年への意欲が持てたと思います。そこで、これから先も米だけではなく、農作物の価格急落があった場合の考えは。

町長

野菜、果樹、花卉などにおける収入減少については、昨年度、高収益作物次期作支援交付金により、生産者の営農継続を支援してきました。米価下落緊急対策支援交付金及び高収益作物次期作支援交付金は、いずれもコロナ禍によ

る緊急対策であります。コロナ終息の平時においては、交付金等の支援は考えておりません。

議員

原油高騰により化学肥料の価格も値上がりしています。米価下落で厳しい状況下、経営の安定と生産意欲を高めるため、肥料の値上がり対策として、値上り分を補助する考えは。

町長

原油高騰による肥料を初め、資材費、燃料費等の値上がりは、農業のみならず、運輸、製造、販売等、各分野において経営を圧迫しております。現在、農家支援対策として、肥料の値上がり分について、町単独での補助は考えておりません。今後、国、県等の原油高騰対策の動向を注視し、適切に対応してまいります。

除雪隊の

コロナ感染対策について

議員

最近、全国的にコロナの

感染者は減少してきています。しかし、気が緩み感染対策がおろそかになり、第6波が起ることが心配です。これから雪の季節になりますが、除雪隊の待機場所の感染対策は。

町長

除雪隊の事務室等の広さと待機人数は、七戸地区が約30平方メートル7人、天間林地区が約30平方メートルに10人となっております。オペレーターは、除雪期間中、ほとんどの作業が未明から早朝にかけてであり、不規則な生活が強いられます。自ら感染防止を含め、体調管理に十分注意し、できるだけ人との接触を控えるようにしております。また、両地区の事務室等の出入り口には、消毒液や検温機器を備え付け、注意喚起のポスターを掲示するなどの対策を実施しております。

触者となり、数日間除雪作業ができなくなります。職場クラスターが発生した時の対策は。

町長

七戸地区、天間林地区のどちらからでクラスターが発生した場合、残る1地区と除雪受託業者とで幹線道路最小限の生活路線の確保を優先することになります。しかしながら、そのような状況に陥らないようにマスクの着用、手指の消毒、検温等、徹底した感染防止対策を継続してまいります。

世界遺産二ツ森貝塚のこれからについて

議員

この夏、世界文化遺産に登録決定した二ツ森貝塚ですが、公園も整備され、二ツ森貝塚も開館し、たくさんの方が来訪しています。これから冬になり、来訪者は減少すると思います。世界遺産二ツ森貝塚をもっと宣伝するために、冬にしかできないイベントを行う考えは。

町長

イベントについては、大規模なものはまだ実施しておりません。来館者に再訪していただけるように、二ツ森貝塚館での体験講座の開催などに取り組んでおります。二ツ森貝塚館開館後、初めての冬ということで、来訪者がどれくらいになるのか気になるところではありますが、現時点では、冬限定のイベントということではなく、どの時期にどのような規模で実施することがベストなのか検討してまいります。

議員

グラウンドに縄文広場を作る計画は。

町長

現時点では、計画というところまでではなく、試験的に実施した土器の野焼きスペースとしての利用を想定したり、史跡公園との兼ね合いを考慮し、竪穴建物や掘立柱建物などを設置するなど、体験活動ができることを軸として検討しております。

公立七戸病院への来年度以降の 基準外操出金の有無、負担金額は

向中野幸八 議員

経常収支改善のための負担金として
令和4年度から7年度の4年間、毎年度
七戸町と東北町あわせて1億円を見込んでいる

町長

自殺者については、その

守秘義務及び個人情報
保護法等により情報入手
が厳しいなか、自殺者・未
遂者の把握や相談機関へ
繋げるための取り組みは。

議員
増加傾向にあります。

町長
当町の今年の1月から7
月までの自殺者数は3名で、
昨年同時期と比較して2名
の増加となりました。近年
の傾向としては、県同様に
増加傾向にあります。

町長
当町の現状は。

議員
今年の1月から7月ま
での県内の自殺者数は、1
80名で過去最高である。

議員
防止対策について

議員
当町の自殺者数の状況と
防止対策について



一問一答方式

情報等を把握することは
できますが、自殺未遂者に
ついては、個人情報・守秘
義務等により把握するこ
とができません。ただし、
救急搬送された医療機関
では、自殺未遂者の支援を
継続して介入できる体制
がとられております。当町
では、役場庁内各課との連
携会議や関係機関とのネ
ットワーク会議等におい
て、情報の収集・共有を図
り、相談機関へつなげるこ
ととしております。

公立七戸病院の 負担金について

議員

公立七戸病院の翌年度
繰越欠損金は、増加の一途
をたどっているが、来年度
以降の資金不足比率改善
のための基準外操出金の
有無及び負担金額の見込
みは。

町長

来年度以降の経常収支
改善のための負担金につ
いては、令和4年度から7
年度までの4年間、毎年度
両町あわせ1億円を見込

空き家対策について

議員

令和2年度の予算審査
特別委員会において、町内
の空き家は、229件との
報告があったが、現在の空
き家数は。

町長

令和2年度に報告した
空き家の件数は、防災にお
ける実態調査のため把握
した件数であります。その
後、調査を行っていないた
め、現在把握している件数
は、前回同様229件であ
りますが、おそらく1年経
過し、さらに増えていると
感じております。

議員

町のホームページで閲
覧できる空き家情報バ
ンクには、数件しか確認で
きず、実際の空き家数とは
大幅に異なっているが、登
録が進まない要因は。

町長

令和3年11月現在、町の空
き家等情報バンクに掲載し
ている物件は、空き家が1
件、空き地が4件でありま
す。登録が進まない要因は、
相続手続きや関係者間で合
意が得られていないことが
考えられます。

議員

県内の多くの自治体が、
不動産業者とつながりの
深い「青森県宅地建物取
引協会」と協定を結んでい
る。当町は、全国版の空き
家バンクに登録している
が、県内他市町村からの移
住希望者への情報提供を
考慮し、同協会と協定を結
ぶ考えは。

町長

他市町村の取り組みを
調査研究し、また青森県宅
地建物取引業協会等との
協定締結を視野に、さらに
は町内の宅建業者等とも
連携し、空き家等の情報共
有に努めてまいります。

議員

学校給食への七戸町産
食材の提供について

上北学校給食センターに
どのくらい納入されている
か。

教育長

令和2年度の実績で、七
戸町産のみよこ米3万1
473キロ、ナガイモ22
0キロ、アピオス粉末14
キロ、地元事業者からの寄
付による牛肉150キロ
が納入されています。

議員

給食への食材納入は、価
格や規格に制限があり難
しい部分である。学校給食
に七戸町産の食材を積極
的に取り入れてもらうた
めの仕組みを作る考えは。

教育長

食材納入事業者へは、七
戸町、東北町、両町の地元
食材を優先した調達、また
調達できない食材につい
ては、青森県産の順で調達
する、学校給食センターの
方針を示し、地元食材を優
先した食材納入に協力を
いただいております。今後も
地元食材の使用割合を高
めるため、地産地消の促進
に向け取り組んでまいり
ます。

広報11月号に掲載された、「インフルエンザ予防接種実施のお知らせ」の案内は適切であったか

田島 政義 議員



一問一答方式

町長

内容等に改善点があり、お詫びをし、早急に改善するようにしました

インフルエンザの
予防接種について

議員

広報11月号に「インフルエンザ予防接種実施のお知らせ」の掲載がありました。そこには、接種実施のお知らせは、接種実施のお知らせは、注意書きとして、高齢者及び身体障害者手帳1級（内部障がい）所持者については、公立七戸病院の予約は完了しましたと書かれております。広報は、月初めに町内会長や集落の連絡員に配達されます。そこから分別などをして町民の皆さんに届くのは、4、5日後になっていると思います。今回のインフルエンザ予防接種実施の案内記事は、案内にもかかわらず、すでに終わっているという内容

は、おかしいように感じます。例えば、ワクチンの分量が少ないということなのか、もう少し町民がわかりやすい説明が記載されてもよかったです。ではないかと思えます。そこで、当町におけるインフルエンザワクチンの確保量と配分方法は、

町長

季節性インフルエンザワクチンは、新型コロナウイルスと違い、国、県から町へ配分されるものではありません。町でのインフルエンザ予防接種は、ワクチン確保から接種までを各医療機関に委託しております。各医療機関は、使用実績を勘案し、医薬品卸売業者等にワクチンの量を要望しますが、全国的な供給量に比例してワクチンが配分されることになり

ます。なお、今現在、町内3医療機関の高齢者用ワクチン数は、約4000人分となっております。

議員

11月26日に七戸病院に行ったところ、12月か

らインフルエンザ予防接種の予約を受け付けますという案内がありました。広報では、予約受付が完了したと案内があり、病院では予約を受け付けますという、これでは町民が混乱します。そこで、広報11月号の予防接種実施のお知らせを掲載する時点で、高齢者及び身体障害者手帳1級（内部障がい）所持者について、七戸病院での予約が終了しているのはなぜか。

町長

高齢者インフルエンザ予防接種の実施については、10月8日付けで対象者に通知文書を発送いたしました。通知文書発送後、まもなくして七戸病院から予約受付が完了したとの連絡を受けたものであります。この辺の解釈の違いということがあり、このようなことが起こります。今回は、改善点があるのを見つかりました。町民の方に大変ご迷惑をおかけいたしました。早急に改善するようにいたします。

「教えて！ にんに君」コーナー

皆さん、こんにちは。議会についての？（はてな）をにんに君が毎回わかりやすく解説していきます。

「教えて！ にんに君」

Vol.5 「町議会は、見たり聞いたりできるの？」

今回は、「本会議」と「全員協議会」の傍聴方法等についてお話しします。

議会でのようなことが話し合われているかなどを知るために、どなたでも実際に本会議や全員協議会を「傍聴」していただくことができます。

- 本会議の傍聴 本会議の傍聴をご希望の方は、議場入口で傍聴人受付簿に氏名、住所のご記入をお願いします。定員は、通常は40名ですが、コロナ禍により現在は20名としております。
- 全員協議会 会議開会時に、七戸町まちづくり条例第10条（町議会の会議は、公開を原則とし…）の規定により傍聴の許可が許されたときに限り、傍聴が可能です。定員は、本会議と同様です。



○本会議、全員協議会の傍聴
・議場入口で氏名・住所の記入
・定員40名（現在は20名）

傍聴席から見た
議場の様子だよ



インターネットの広報番組で 行政案内をする考えは

山本 泰二 議員

町長 **テレビリモコンの“dボタン”を活用した 自治体広報の導入を考えている**



一問一答方式

議員 近年、世の中が大きく変わってきていると認識させられるような事態が多発しています。世界規模での異常気象に、新型コロナウイルスのまん延、国際間での紛争、クーデターに人権問題など、枚挙にいとまがありません。

国内に目を向けてみても、自然災害に燃料の高騰、無差別殺傷事件、子供の虐待、新政権の誕生など、私たちの身近なところで大きな事態が発生してきています。

現代に生きていく私たちには、そのような情報の中で様々な情報をタイムリーに的確に入手し、適切な対応をしていくことが求められています。小さな町

なかの町民一人にとっても、今や情報はライフラインの一つなのであります。私たちは、そのような重要な情報をどこから入手しているのではありませんか。かつては、多くは新聞ラジオ、テレビなどでありました。現在は、それにインターネットが加わり、むしろそれらに取って代わりつつあります。

私たちが必要な情報は、個人々人それぞれによって異なりますが、行政から発信する情報は、確実に個々に伝わる必要があります。国から発信する情報は国民へ、県から発信する情報は県民へ、町から発信する情報は町民に伝わなければならない。先に、国はコロナ禍での緊急事態宣言や行動の自粛に関して、きちんとした説明をせず、国民に混乱を与えたとされています。適切な時期に適切な言葉で状況と方針の説明とが共有されるべきであったと、多くの人は感じています。必要なときに必要な説明がなされないこ

とに対し、人は不満と不安を持つものであります。今後、様々な大きな変革が予想されるなか、的確な情報発信が必要であると考えます。

行政広報について

議員 町の行政について、町民及び町外に対し、どのようなことをどのような意図で行うか、伝える必要があります。現在、毎戸配布の広報しちのへ、町のホームページなどがこの役割を担っていますが、ほかにどのような方法で行政の案内を知らしめているか。行政の案内を町民に伝える手段にはどのようなものがあるか。

町長

行政案内を伝える手段としては、町の広報誌やチラシ等の紙媒体によるもののほか、防災無線や町のホームページを利用し、町民にお伝えしております。また、今年7月からは、SNSのラインで、町の公式

アカウントを立ち上げました。個人がアカウントに登録していただくと、町が発信する行政情報や災害情報などを自動で受け取ることができ、現在、約500名が登録しております。

議員

現状、町民からは、様々なことで町からの情報が伝わってこないという意見があります。例えば、インフルエンザワクチン接種の予約方法、プレミアム商品券・飲食券の販売方法、風力発電の必要性や環境適合性などについてであります。確かに一般的な情報は、広報誌で周知されているものですが、広報誌は月に一度であり、適時性に欠け、情勢に応じた情報の発信が求められています。他市町村では、ケーブルテレビによる広報番組などがあります。現在では、もっと簡単に情報を発信することは可能であります。そこで、インターネットの広報番組で行政について案内する考えは。

町長

インターネット上での動画配信の試みとして、地域おこし協力隊が「しちのへちゃんねる」というYouTubeを立ち上げ、町の魅力や情報を伝える動画を10月までに11本制作・投稿しております。今後も町の魅力や行政情報を伝える有効的手段の一つとなれるように期待しております。また、自宅にパソコンがない、スマートフォンを持っていない高齢者などへの情報伝達の手段として、テレビリモコンのdボタンを活用した自治体広報の導入に向けて準備を進めております。

議員

インターネットの広報番組というのは、行政にとって強力な武器になると思います。今後とも、dボタンを活用した自治体広報もそうですが、町の広報をぜひとも動画で配信するような方針をとっていただければと思います。

委員会の動き

◎総務企画常任委員会

開催日 令和3年11月11日

案件 ①12月定例会における各課懸案事項

②令和3年委員会報告書の取りまとめ

③閉会中の継続調査申出書の提出

内容 ①各課長より懸案事項の説明を受け協議した。

②委員会報告として「新型コロナウイルス等感染症の今後の状況に対応した施策を推進すべきである」、「人口減少抑制のため雇用創出の促進を図るべきである」、「再生可能エネルギー導入後の課題の調査を図るべきである」、「道の駅周辺の開発の調査を図るべきである」、「公立七戸病院への負担金支出については、効率性と計画性を求めるべきである」を町当局へ要請することにした。

③令和4年12月定例会を期限とし、「行財政改革」、「総合計画」、「町の活性化対策」、「その他の所管事務」について、継続調査申出書を提出することにした。

◎建設産業常任委員会

開催日 令和3年11月12日

案件 ①12月定例会における各課懸案事項

②令和3年委員会報告書の取りまとめ

内容

③閉会中の継続調査申出書の提出
①各課長より懸案事項の説明を受け協議した。

②委員会報告として、「新型コロナウイルス等感染症の状況下における経済対策を促進するべきである」、「産業の振興を図るために、高付加価値化、ブランド化、並びに後継者育成を図るべきである」、「起業・創業支援を図るべきである」、「生活路線・上水道及び生活排水の整備を計画的に整備するべきである」、「七戸町に適合した農地集積を図るべきである」、「公共事業等の早期発注を継続的に図るべきである」を町当局へ要請することにした。

◎文教厚生常任委員会

開催日 令和3年11月15日

案件 ①12月定例会における各課懸案事項

②令和3年委員会報告書の取りまとめ

③閉会中の継続調査申出書の提出

内容 ①各課長より懸案事項の説明を受け協議した。

②委員会報告として「新型コロナウイルス等感染症の状況下での教育・福祉への対策

を今後も推進するべきである」、「縄文遺跡群及び文化財の保存・整備・活用を図るべきである」、「環境整備対策（不法投棄及び水質汚濁等）の強化を図るべきである」を町当局へ要請することにした。

◎議会運営委員会

開催日 令和3年11月17日

案件 ①12月定例会の提出議案等

②令和3年委員会報告書及び閉会中の継続調査申出書について

③各常任委員会の委員会報告書及び閉会中の継続調査申出書について

内容 ①総務課長及び財政課長より提出議案等の説明を受け審査した。

②議会運営委員会として特筆すべき事項なしと決定した。また、令和4年12月定例会を期限とし、「議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項」、「議長の諮問に関する事項」、「その他の所管事務」について、継続調査申出書を提出することにした。

③町当局へ要請することにした。また、令和4年12月定例会を期限とし、所管事務の閉会中の継続調査申出書を提出することにした。

開催日 令和3年11月30日
 案件 ①議案の追加について
 ・七戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

内容 ①七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
 ・七戸町議云議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
 ②総務課長より追加議案の説明を受け、追加日程で審議することにした。

開催日 令和3年12月1日
 案件 ①議案の追加について
 ・工事請負契約の締結について
 (仮称 七戸町総合アリーナ新築工事 建築工事)

内容 ①工事請負契約の締結について
 (仮称 七戸町総合アリーナ新築工事 電気設備工事)
 ・工事請負契約の締結について
 (仮称 七戸町総合アリーナ新築工事 機械設備工事)
 ・物品購入契約の締結について
 (除雪グレーダ(40m級) 交換購入)
 ・七戸町土地改良事業(災害復旧事業)の施行について
 ・令和3年度一般会計補正予算(第12号) ③総務課長及び財政課長より追加議案の説明を受け、追加日程で審議することにした。

開催日 令和3年12月3日
 案件 ①動議の取り扱いについて
 内容 ①動議について、議会改革特別委員会へ付託することにした。

◎道路整備促進特別委員会

開催日 令和3年12月3日
 案件 ①令和3年度道路整備促進特別委員会活動報告

- 「一般国道45号上北自動車道整備促進に関する要望書」の要望内容
1. 道路整備予算の確保について
 ・令和4年度の予算における公共事業関係費の大幅な増額。
 ・新型コロナウイルス収束後の経済活動復興のための道路整備を実現。
 ・インフラ再構築のための防災・安全交付金等の予算の確保。
 ・通学路等の交通安全対策に必要な予算を別枠での確保。
 2. 一般国道45号上北自動車道の整備促進について
 ・全線開通に向けた「天間林道路」の令和4年内供用開始。
 ・下北半島縦貫道路「野辺地く七戸」間の早期事業化。
 3. 重要物流道路の機能強化、重点支援について

内容 ①建設課長より提出案件の活動内容報告を受けた。
 ・「A!プレミアム輸送サービス」などの物流の効率化や地域産業の活性化を支援する機能強化や重点支援。
 4. 道路ストックの老朽化や防災・減災への対策の充実について
 ・予防保全型メンテナンスを持続的に実施するための財源確保や人材育成を含めた市町村への支援体制の充実。
 ・道路施設の防災・減災等対策の推進・支援体制の充実。

編集後記

令和3年を振り返ると、国内外ともにコロナ感染の対応に苦しんだ年でありました。また、8月の異常気象の発生により、当町では今まで経験をしたことがない災害の対応に追われました。
 明るいニュースもありました。長年の願望であった世界文化遺産に史跡二ツ森貝塚が登録となりました。

議会だよりについては、いつも読みやすく、わかりやすくを考えています。議会の活動をこれからも今以上に理解していただくためにも、今まで同様ではなく、時代や当町オリジナルの議会だよりに変革していかなくてはと思っています。

令和4年が皆様方にとって、幸せな年であることを願います。
 (向中野)

議会広報編集特別委員会
 1月6日・13日 開催
 委員長 山本 泰二
 副委員長 佐々木 寿夫
 委員 小坂 義貞
 二ツ森 英樹
 向中野 幸八
 中野 正章